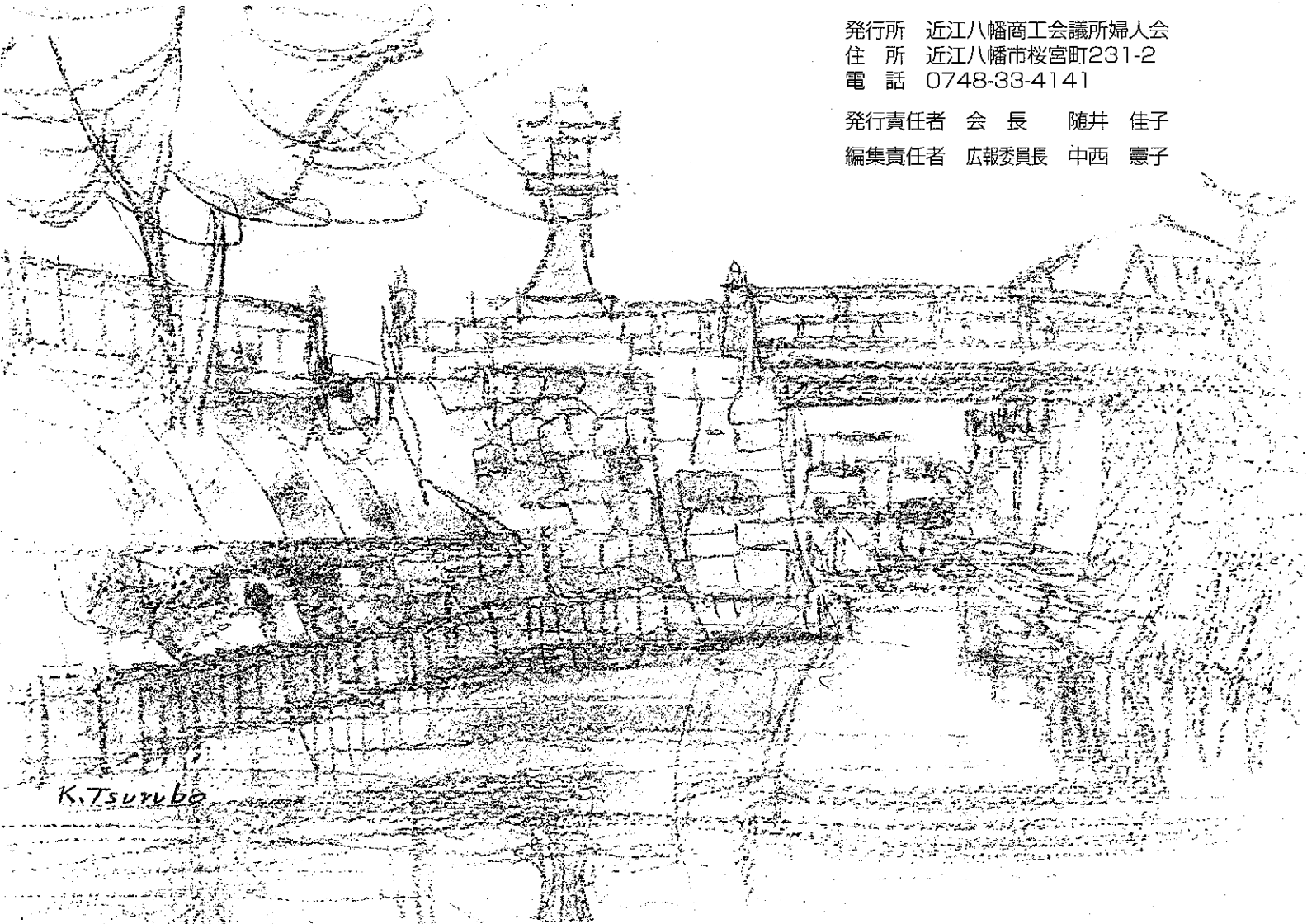


あすなろ

発行所 近江八幡商工会議所婦人会
住 所 近江八幡市桜宮町231-2
電 話 0748-33-4141

発行責任者 会 長 随井 佳子
編集責任者 広報委員長 中西 憲子



K. Tsurubo

みんな好きに

私は好きになりたいな、
何でもかんでもみんなな。

葱も、トマトも、おさかなも、
残らず好きになりたいな。

うさぎのおかずは、みんなな、
母さまのおつくりなりましたもの。

私は好きになりました、
誰でもかかぬもみんなな。

お医者さんでも、鳥でも、
残らず好きになりたいな。

世界のものはいみんな、
神さまのおつくりにしたもの。

金子みすゞ全集より抜粋

「見利思義」

近江八幡商工会議所婦人会 会長 随井 佳子

青山緑水、風のさわやかさに、はつ夏への移ろいが感じられます。

二十一世紀を目前にして、私達婦人の立場から、商工業の振興と文化の発展並びに、社会福祉の増進に寄与することを目的として、日々活動致しております。

この美しい星、地球にも温暖化やオゾン層の破壊による環境等の問題が重視され、身近に危険性を感じずにはいられません。

福祉におきましても、少子化と高齢化時代より高齢社会となり、いろいろな対策がなされてつつあります。経済面でもバブル崩壊以後マイナス成長の昨今をプラス成長への希望をもって、積進努力しているものがございます。

中国の古い諺で「見利思義」という言葉がございます。「利を見ては、義を思う」と詠むそうです。

先人の残された近江商人の家訓に「義を先に、利を後にするものは栄え、富をよしとして、その徳をほどこせ」と教えられています。どちらも誠に意味深いもので、なかなか実践に移すことは容易なことではありませんが、今の時節でこそ、深い思い、心を持って少しでも社会にご奉仕出来、お役に立つことが出来ればと思えます。

私達近江八幡商工会議所婦人は、一日も早い景気回復を祈るとともに、心をひとつにして力を合わせ、ほのぼのとした心で、明日への活力の原動力となる場でありたいと念じてやみません。

平成十一年十一月十一日に開催致します、近江八幡商工会議所婦人会創立十周年記念事業が、にぎやかに迎えられます様に、皆様の一層のお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。



寄稿

近江八幡商工会議所婦人会 会報「あすなる」に寄せて

草津商工会議所婦人会 会長 飯沼 喜代子

新緑が目には鮮やかで、薫風の季節となりました。近江八幡商工会議所婦人会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、中西広報委員長様より、寄稿のご依頼をいただきましたので、誠に僣越ではございますが、一筆計上申し上げます。

近江八幡といえますと、昔から商いの町で、近江商人の里でございます。京都のように碁盤の目状に整然と区画されていて、伝統を感じる町名や八幡堀は、城下町の良さを今に伝えておりますし、商いにおきましては、近江商人として各地でその時代、時代の活躍をされ、現在も日本経済社会のいろいろな分野でリーダーシップをとっております。

その近江商人が成功へとたどられたのは、質素節約、質実剛健で、先祖を敬い、商いにおいては、利益よりも品物を重視し、良い商売を心掛

けられたことや、非凡な発想とひたむきな努力によるものだそうで、「陰徳善事」の高潔思想が今日にも

引き継がれ、社会事業や寄贈物として、数多く残されているということですが、このような伝統ある地に住まわれ、商いをされておられる皆様は、環境にも恵まれ、自身と誇りを持って、事業経営をなっさておられることと思えます。

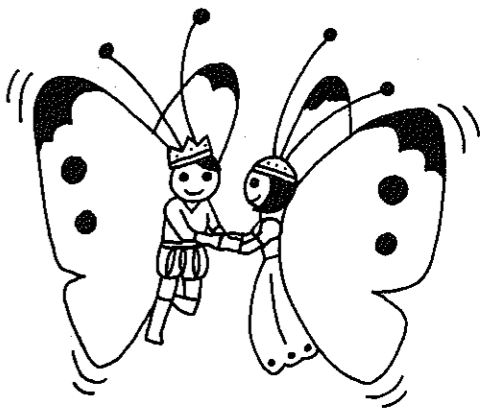
「こころ」が大切と叫ばれて久しい現代社会に、全くそのまま通じる貴重な理念だと思えます。これからも、こころある商売が発展する世の

中になっていくのではないのでしょうか。

女性近江商人として、そのすばらしい経営理念でもって、街づくりに、また安定した地域社会の確立と発展に、そして社会福祉にと、寄与されることを信じております。

会員皆様の事業のご繁栄と貴婦人会のご発展をお祈り申し上げます。私のつたない寄稿とさせていただきます。





森村 邦子さん 事業所名 森村商会
所在地 武佐町334
業種 食肉卸売業

吉田 英津子さん 事業所名 吉田工務店
所在地 土田町856
業種 建築業

新会員紹介

江川 澄子さん 事業所名 (株)江川電機商会
所在地 土田町1245-5
業種 電気工事業

田中 恵美子さん 事業所名 味の山善
所在地 上野町91-1
業種 食肉小売業

人生プラス志向

小西 とよ子

私の夫は、二年前に、生まれ育った滋賀のお役に立ちたいと、公務員をやめ、衆議院選に手を上げました。たいへんな御支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいにならせていただきました。現在、力不足で落選致しました。現在、なんとしてもの意気、地道に活動させていただいています。

もともと、私の家は、小さな薬店を営んでいます。ご近所の方々の語らいの場でもあり、日々のくらし、そして、地域の問題等、時折耳にしますし、何より小さくとも、景気に敏感でもあります。

多くの皆様の声の代弁者とならせていただきたく活動しています。夫にとりまして、近江八幡の地域経済の最前線で活動されている方々の会に入会させていただくことは、とても大きな意味があり、皆様のお声を活動の糧にと考えています。

百点か零点かの厳しい世界、飛び込むことをとても悩んでいた時、「今までに、一生懸命何かをやったことがあるか」と、夫は、私に云いました。その時、今までの自分をふり返って、何も返す言葉がありませんでした。

「一生懸命」。口にするのはたやすいけれど、どうだったか、私なりにやってはきたけれど…、一生懸命だったかどうか…
「夫婦で同じ目標に向かって生きていけることは、すばらしいことだよ」と知人からも云われ、大きな目標に向かって、一生懸命生き、そして輝いていらっしやる方がとても多いことに驚きました。御出会いさせていただいたことに感謝し、そういう方々に少しでも近づきたいと、反省の毎日です。足が悪いのに、いつもにこにここと、「人生プラス志向やで、小西さん」と、私に元気を下さる方がいらっしやいます。そう、プラス志向で、一生懸命に！
私自身の人生でもありますから。

近江八幡に嫁いできて

江川 澄子

わたしは広島県の城下町に生まれ、高校を卒業するまでの十八年、広島市内に就職しての四年間と、奇しくも縁逢ってこの地に嫁いできて今年で二十三年に成りました。
地元広島より近江八幡での生活が一年多くなったのです。

嫁いできた当初は、広々とした田園風景に広大な琵琶湖にと、のんびりと新婚生活を過ごし過ぎたのか、子供に恵まれるまでの十年は非常に長く感じていました。

十年目にして長男を授かったとは、義父の大変喜んでくれた顔が思い出されます。

その義父も三年後他界し、翌年次男を授かり義父の生まれ変わりとして義父の愛称の「しんちゃん」を頂いて伸介、長男は祐介となすけています。わが家もご多分に漏れず、子供中心のドタバタ生活を楽しみながら子育てにガンバル毎日です。

また、今年からは長男が中学校に入学し久しく(二人の幼稚園時代)作っていなかった毎朝のお弁当作りに奮闘中です。

今後も高校受験、大学受験等二人の子供中心の生活が待っていると思うと、少し不安も感じられますが、先に経験されている諸先輩のご指導や相談にお耳をお貸しください。これからも宜しくお願ひいたします。

あたり前

平田 好子

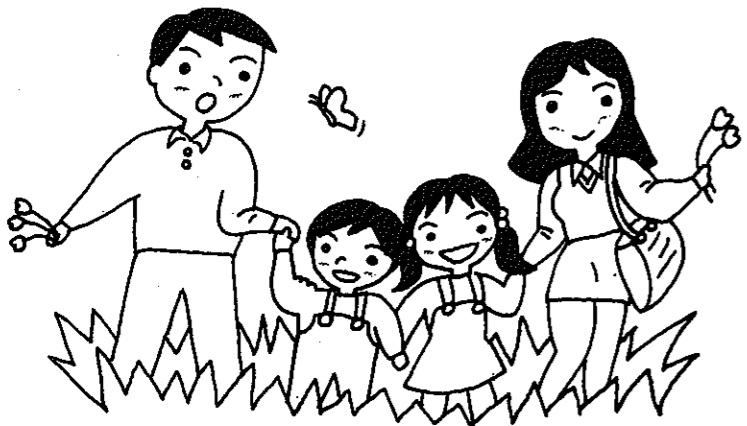
生まれてから死ぬまで、何の悩みも苦労もなく、幸せ続きであったというような人は、おそらく一人もいないと思う。

お互いの仕事や人間関係でもいつも順調でいいことづくめということとはあり得ない。

何事も成し遂げるまでには、たいがい少なからず失敗が伴うものだし、どんな親しい人とのつきあいにも時には不安や悩みの影を差す

それがあたり前の姿だと思ふ。どんな仕事や職場でも悩みや苦労はあるのはあたり前だからそれに押し流されずむしろそれを糧として自分を鍛え伸ばすように努めていく。そんな姿勢を貫いてこそ楽しみ苦しみが血肉となり自分を豊かにしてくれるものではないでしょうか。

一度きりの人生を何事も前向きにプラスに転換して頑張りましょう。その事が若さを保つ秘訣でもあるのですから。



初心忘れるべからず

中西 憲子

主人の病気を機に、親の元を離れから一からの出発は、今から二十一年前の春でした。それから三年、不思議な御縁で、建築石材業と言う仕事に巡り合う事が出来、無我夢中で勉強し周りの方に助けられ、教えられながらの日々でした。忘れられないのは、能登川町の工務店さんから十三万円を集金を頂いた時の感動は今もはっきり記憶に残っています。うれしくて、有り難くてそれを持つ手が小刻みに震えておりました。思えば若かったのですね、資金も殆ど無かったにも関わらず、将来に不安を感じる暇も無い位、二人で懸命に頑張る内に、土地や・工場が必要と成り、幸せなことに、それも手に入れる事が出来ました。それと同時に協力して下さるゼネコンさんも増え前進あるのみと勢い込んで居たのですが、創業から十年目にしてパブルが弾け、その余波がジワジワと

迫って来てからが大変です。価格破壊による生き残り合戦が熾烈を極め、そして現在に至っております。

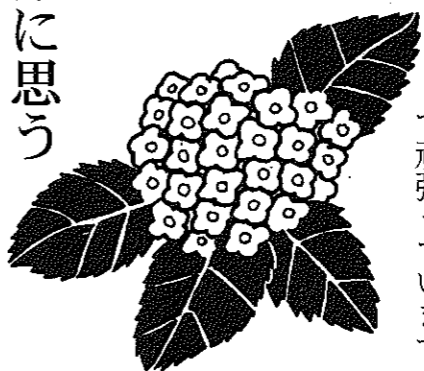
幸いに、長男・次女の若いエネルギーも加わり、苦しい時代を一致協力して頑張っています。

二十一年前の若さと・エネルギーは、大分失せましたが、心意気は、

『初心忘れるべからず』

『前進あるのみ』

で頑張っています。



振興券に思う

匿名希望さん

地域振興券、この言葉を最初テレビニュースで聞いた時一体それほどいう物なのか、どういう条件でどういう人がもらえる様になるのか。。。何でも、景気対策の一環として一

律二万円づつ六十五才以上、十五才以下の人達に配られると云う事がわかり一応納得。

でもそんな事位で今の不景気どうして上向くか。まさかそんな幼稚な考えが国会で可決されるとは思いもしなかったのです。

普段日々の買い物は、殆ど近場でしているのに、今更この券で地元のお店を活性化させましようと言われてもピンときません。それ以前に振興券を発行するに至ってはどれ程余分なお金と労力が使われた事か。本当に税金のムダ使いではなかったのかと疑問が残ります。

我が家でも対象者が四人いますが三人迄頂く事になりました。でももらってうれしくないと言えば嘘になります。何か釈然としないものを感じているのも事実です。

それよりもっと広範囲のお年寄りや子供達にその地域の特典ある特典を与えるなどもっと議論があっても良かったのではないかと思っ

ぶらり八幡

おらが故郷「喜多里」北里学区

私達が住んでいる北里学区もいろいろと歴史をひも解いて見ると、町名一つにしても、それぞれに謂れがあり、おもしろいものです。

5年前に「北里学区しあわせのまちづくり審議会」というものが設置され「北里のあゆみ」という冊子が発行され、各戸に配布されています。

これは、北里の生い立ちが掲載されていて大変興味深いものです。日ごろ何気なく通っている朝鮮人街道というのも昔は徳川將軍と朝鮮通信使の通行にだけ使用される吉道であったと記されています。

近くには、国宝に指定されている本尊木造大日如来坐像や社寺仏閣も沢山あります。

国道477号線を、十王町信号より八百m位下ると正面に小田神社が見えます。大山昨神(オオヤマクイノカミ)を御祭神とし大己貴神(大国主命)と須佐之男命(スサノオノミコト)を配祀とされています。

楼門は、三手先(ミオサキ)の組物で、大正6年に国宝に、昭和25年に重要文化財に指定され、また社殿においては、



龍、鶏、菊花文様の彫刻は、左甚五郎作といわれています。

小田神社の創立は、十二代乘仁天皇の時代と記されており、文治2年に大将源頼朝が再建し壮大麗美な建築であったと社伝に記されています。

天正4年織田信長が安土城を築城した折、小田神社に参詣し神領式百石を与られ、小田・十王はもとより小南・田中江・小西・牧・鍛冶屋・大房・土田・中村・宇津呂・森尻・古川・諸村は、皆氏子であったと記されている。



現在の拝殿は、過去3回の火災にて、焼失した後、平安末期に建立されたもので、昭和六十一年四月に造営されたものだそうです。神社より右手の細い道を入ると、織田信長の側室の「お鍋の方」の墓だと伝わる小高い畑があります。すぐ近くには、菩提寺の「浄光寺」もあり、現在でもこの地の小字名を「こつ」(お骨のあるところの意味だと思えます)といっています。

現在の小田町は、初秋には休耕田を利用したコスモス畑が一面に咲きそろいます。

秋の昼下がり、北里の郷から岡山城跡へと散策されてはいかがなものでしょうか。是非ともお越しください。

北里学区会員 太田 悦子
村井 光子

会 員 訪 問

おじゃましませう!!



タイヤとホイールのお店
ミスタータイヤマンカジナオ
電話〇七四八三三一九九

近江八幡市桜宮町二〇五番地

広瀬 真由美さん

初代広瀬直次郎氏が「かじ直」を創業。現在自宅である出町六丁目で開業された。三十五年前にこの駅前通りに出て来られた時は官庁街も病院もなく、周りは田んぼばかりで道路はガタガタ道であったとおっしゃるおばあちゃん。最初は馬車の車輪を作っていて、かじ屋さんでしたが、車社会となるにつれ、車輪からタイヤと変わってきたと三代目のご主人。接客に忙しい奥様のモットーは、「親切・丁寧」。親子二代のおしどり夫婦で頑張っておられます。中三・中一・小四の三人のお子様達も成長されて、四代目を継がせるのも間近ではないでしょうか。いつも元気で優しい奥様の笑顔と、気さくなご主人のコンピで毎日多くの人が集ってきて、店内のホール内はにぎやかです。



「タイヤマンカジナオ」。今年5月に新装オープンされました。

今後の行事予定

六月

第十一回近畿商工工会議所婦人会
連合会総会・大会
びわ湖ホール（六月八日）

七月

正副会長会議
奉仕作業（グリーン運動）
チャリティバザー準備（七月三十一日）

八月

てんびんまつりチャリティバザー開催（八月一日）
夕涼み会（八月十一日）
介護保険法について勉強会と懇親会

九月

滋賀県商工会議所婦人会連合会講演会

十月

第三十一回全国商工会議所婦人会連合会
総会高知大会（二十六～二十七日）

十一月

近江八幡商工会議所婦人会設立十周年記念式典
（ホテルニューオウミ十一月十一日）

十二月

同和問題勉強会・研修会

一月

新年懇談会・市長と語る会



中！ 募集 会 員



編 集 後 記

衣替えで制服姿が目には新鮮に映る季節となりました。
お忙しい中、ご寄稿くださった皆様には、ほんとうにありがとうございます。
日々の暮らしの中で、ちよつと感じた事、体験談など、何でも結構です。お聞かせください。
今年、十周年の記念すべき年で広報委員一同ちよつぱりリニューアルをと考えております。楽しみにしていただけのように頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

第二委員会 千賀 恵子